

●竹蛇籠の取組

竹蛇籠作成の最初の工程、三つめのポイント交差する3本が組み合わさりしっかり固定するようにそして次にはそれがおさえられることになり、全体がみじんも動かないようになっていくべきものだという事まで、理解できました。ところが進行していくにしたがって、この基本通りになっていかずにぶれてしまいます。悩ましいものです。なかなか同じように進めているのですが、その通りにならず、行き詰まってしまいます。それは直径が45cmという規格以上の大型になってしまっていて混乱が始まっているようです。最初から原寸に近いものとして組んでいくことが肝心なように思えます。小槌の使い方がポイントのようだとも思われます。皆さん底辺の最初の部分はかなりマスターされてきました。腕が確かに上がって早くできるように見えます。最初の難関を突破されて組み上げていく部分に入っています。確かに一步前進しましたが、まだまだ難関があるようです。27日には初心者がかかりお越しになりますので、それまでが技術習得のリミットと語り合っております。要は経験時間がものをいうことになるのではないのでしょうか。いつでもどの時間帯でも練習が可能になるように道具は準備をしています。気軽にぜひお越しください、里山の会にお問い合わせください。電話をお願いします。

次回の竹蛇籠製作学習研究会は20日(水)午前9時から11時30分です。降雨に関係なく実施します。場所は木津川右岸・玉水橋東詰め下流側の広場です。一人でもお出かけください。お待ちしております。引き続き21日24日にも予定しています。その折には里山の会に電話をお願いします。090-7100-3295

●10日の魚とり 河川レンジャーの中西佳代さん主催のイベントでした

30人ぐらいの参加者だったようです。場所は当初予定していた場所ではなく、山城大橋東詰め下城陽市域での実施でした。ご苦労様でした。

●10月8日(日) 10:00~12:00 竹蛇籠 秋の生き物調査を実施

2015年に設置した竹蛇籠で生き物調査を行ってきました。今年も竹門先生のご指導で大学院生(京都大学・滋賀県立大学)や現役大学生のガイドで開催します。前は30人近くの皆さんが参加いただきました。どのような生き物が見つかるのかワクワクします。新しい生き物のすみかの魅力に期待しています。服装は水に入れる用意 帽子 魚とり用の網 着替え タオル バケツ 筆記用具など 午後からは竹蛇籠づくりにもご参加ください。

●薪割りの購入について

26トンのものが使い勝手がいいとお聞きしました。エンジンは日本製に変更できるとのことでした。しかし製品製造元は中国ですから、故障時の修理などは大丈夫か? という質問や心配が寄せられました。一方高額な製品なので、耐久性のあるもの、故障の発生がないものと言った声がありました。とりあえず現物使用されているものを事前に確認させていただければとなりました。(14日(木)13時30分に宇治田原町郷の口の今西さん宅で使用中の現物を見させていただきます)

●里山農園

9日冬野菜の種まきを行いました。昨年通りに法蓮草や蕪の大玉と小玉、水菜、日野菜、壬生菜、菊菜、それに大根を一筋ずつとしました三人で半日の作業でした。冬野菜を栽培しようと思っておられる方がおられましたらご連絡をお願いします。十分に畑は用意できていますので、ご一報ください。連絡をお待ちしています。

●夏に予定していました、県外現地視察研修会について

10月14日 北九州市小倉で行われる第17回川に学ぶ体験活動全国大会に参加して交流を深め学びたいと思います。昨年の大会には摂南大学で開催された催しです。併せて九州熊本地震の現場と九州豪雨の現場を訪ねるつもりです。できれば復興支援のボランティアもと考えています。いい取り組みになればと思ってプランを練っています。参加ご希望者がおられましたら、ご連絡ください。募集人数は8名と予定しています。昨年は愛知用水と木曾三川公園展望タワーを訪ねました。

●大阪市立自然史博物館を訪ねました

12日(火)自然環境保全京都府ネットワークの主催で博物館の設立の経過や博物館が地域の人々とそのような働きかけを行ってきたのかなどについて佐久間先生からお話をいただきました。15人の学芸員さんが研究されている。そして特別展などでの研究発表に取り組んでおられます。今回の瀬戸内海の自然を楽しむ特別展は5年間の研究成果の発表だそうです。展示の中で最初に目を引いたのが瀬戸内海のジオラマ(地形の立体的な模型でした。相当高い経費をかけて作成されたもので、瀬戸内海の水の無い海底が分り深さが色の濃さで表してありました。そして解説員さんからは昔瀬戸内海は川であったことが話されて驚きの声が上がりました。これは山陽新幹線が作られる以前のものか、それともその後のものかと質問があり、ました。山陽新幹線の建設のために、相当大量の浅瀬の砂が採取されたとのことでした。その影響が表れているようでした。自然公園の運営にかかわること特に財源の確保と研究活動の経費に苦労しながら頑張っておられることが伝わりました。

●秋の主な展示発表の日程が決まってきました

10月1日…城陽市緑化フェスタ(展示発表、綿菓子販売、松かさツリーづくり)で参加します 11月5・6日京田辺市民文化祭(模擬店と活動紹介ポスター展示)、12月9・10日京都市伏見区竹田のパルスプラザ、京都府環境フェスタ(松かさツリーと活動発表展示、とミニステージ発表)で参加をいたします。

●10月7日(土)第7回目の一斉木津川水質調査実施します

調査地点は22か所を毎年継続して採取して分析しています。

●県外現地視察研究会の実施を検討 10月14・15・16日

第17回川に学ぶ体験活動全国集会に参加(昨年摂南大学で第16回大会を近畿で主催に協力)、15日以降九州豪雨の現地と、熊本地震の現地を視察し、時間があれば復興支援ボランティアを行う予定です。ご参加の皆さんの要望やリクエストに応じてプランを変更します。経費は一泊1万円程度の負担と考えています。

●来年8月に沖縄石垣島への自然観察会も予定しています

7月17日の夜の生き物調べてお世話になった桜谷先生から一度は訪ねてくださいとのご推挙があつて、検討を進めています。とりあえず石垣島周辺の島々には高速艇1時間程度で渡れて観察調査が可能ということです。経費が高額になりますので、積み立てを行うことから準備を始めましょう。ご参加をご検討ください。

●会費の未納入の皆さん、納入にご協力ください

●会誌43号の原稿を募集しています

発行予定は10月20日です。皆様の投稿をお願いいたします。

●大聖牛という呼称を「中聖牛」に変更します

大聖牛というのは高さ6m程度の非常に大きなものだそうです。今回木津川で計画しているものは4mなので中聖牛にいう高さと大きさになりますので、正確に表現することに変更いたします。(これは竹門先生から連絡が来ました)